

## 編集後記

何よりもまず、第5号は、巻頭に富来 隆、中野幡能両先生の晴れの叙勲をご紹介しますことができ、こんなうれしいことはありません。これからも各方面でますますご活躍されることを会員一同おおいに期待いたします。

富来隆先生の、地名を言葉のもつ意味から考えて、その由来や歴史を探ろうとするお話も、いよいよ佳境に入ってきました。行政の合理化から、小字が消え、辛うじて残っていた旧町名も新町名に変わり、土地への愛着や思い入れが薄くなった現在、時宜をえたものと思います。「別府市誌」付録の小字図を転載しましたので、せいぜいご利用ください。

藤内喜六氏の「地獄の噴気を利用した食べ物」は、地獄地帯に住む庶民の知恵がにじみ出た食べ物だと思います。地獄蒸しの軽羹や地獄蒸し椿餅は、地獄地帯の名菓として是非復活してほしいものです。ほのかないで湯の香りは、他ではとうてい出せない風味だと思います。

自画自賛ではありませんが、「別府史談」も号を重ねるごとに体裁が整ってきたように思います。できれば年2回発行できるようになればと思っています。会員の投稿がもっと多くなることを念じています。

別府は温泉とともに歩みで発展した都市です。温泉にかかわる歴史が、即別府の歴史だと思われます。この面に目をむけ、今後とも温泉のに関する風俗、信仰のほりおこしに努力していきたいと思っています。

編集子

### 前号(四号)目次

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ・人と言葉              | 富 来 隆   |
| ・別府の行政事情(明治前期)     | 大 野 保 治 |
| ・別府で開かれた「九州小安居」    | 佐 藤 嘉 一 |
| ・名勝解説 別府温泉地獄めぐり    | 星 野 純 郎 |
| ・新開ハ御免蒙候           | 入 江 秀 利 |
| ・別府を西南戦争の戦火より守った五人 | 安 部 和 也 |
| ・鎮西八郎為朝と別府         | 堀 藤 吉 郎 |
| ・我が家の宝塔            | 安 部 定 雄 |
| ・それらしきこと・夢路と別府     | 大 塚 俊 英 |
| ・別府末行遺跡の銅鐸形土製品     | 佐 藤 曉 子 |
| ・日韓交流今昔            | 相 良 範   |
| ・菊舎尼と別府            | 佐 藤 勉   |
| ・別府繁盛記             | 菊 池 幽 芳 |